

フォトニュース

町内各地で秋まつり



▲町内各地区で秋まつりが行われました。今年は、北田原・南田原・北野・紫合・柏梨田の5自治会が初めての合同秋まつりを9日に行う予定でしたが、雨天により柏梨田地区は9日、北田原・北野・紫合地区は10日、南田原地区は9・10日の両日にそれぞれ行われました。

10日は、各自治会とも山車に子ども達が乗り込み、独特のリズムの太鼓を鳴らしながら地域内を曳行したり、夕方からは南田原獅子舞会による獅子舞の演技、餅撒きなどが行われ交流を深めました。

元気いっぱい！笑顔であふれたいながわまつり



▲11月3日、「第43回いながわまつり」が総合公園・文化体育館・生涯学習センターを会場として開催されました。ハッピーズのお姉さん達による「ハッピーコンサート」などがまつりに華を添え、町内外から約25,000人が参加し、盛大なまつりとなりました。

おおきいイモ！うれしいなあ♪



▶10月14日、猪名川保育園の3・4・5歳児の78人が、差組地区の畑でイモ掘りを楽しみました。このイモ掘りは、町学童農園設置事業の一つで、5月に園児が苗を植え、町が作物の管理を農家に委託して、秋の恒例行事として行っています。

園児達は、おおきなサツマイモを掘り出しては、歓声をあげていました。

阪神地域の最高峰大野山や猪名川の源流を擁する猪名川町の豊かな自然は、住民のみならず都市住民の癒しの場ともなっています。

昭和32(1957)年、町域の約80%が猪名川溪谷県立自然公園と指定され、その環境が保護・整備されることとなりました。

昭和40(1965)年には、当時大気汚染や騒音に悩んでいた重化学工業地域尼崎市の学生のために市と町が協定を結び、「猪名川町夏季学生村」が開設されました。

婦人会や一般家庭の協力を得て、自然の中で1週間以上滞在し勉強する学生を7月1日～9月30日の間、全町域13地区で受け入れました。

いながわ 歴史ウォーク ⑨2 癒しのまち猪名川町



▲奥猪名健康の郷

翌41年2月には「尼崎市立青少年いこいの家」が、8月には「県立奥猪名健康サイト(現・奥猪名健康の郷)」「尼崎市立高原ロジジ(現・高原ロジジ・メープル猪名川)」が続々と開設され、今も自然体験と癒しの場となっています。

子ども歌舞伎を披露



▲10月15・16日、杉生地区の八坂神社で、秋まつりの恒例行事となっている子ども歌舞伎「練り込み」が披露されました。

練り込みは、江戸時代から始まった農村歌舞伎の流れをくむもので、杉生・西畑地区の子ども達が「忠臣蔵」などそれぞれの配役の衣装に身を包み、化粧をして地区内を練り歩きました。

J A兵庫六甲がA E D 6台を寄贈



▶10月27日、J A兵庫六甲が町にA E D(自動体外式除細動器) 6台を寄贈されました。

中尾代表理事組合長(写真右)は、「町民の生命を守るために有効活用してください」と話し、福田町長は「人口32,500人を超える町となり、『いきいきと暮らせる健康長寿のまち 猪名川』のまちづくり大切に活用させていただきます」と感謝の言葉を述べて受け取りました。

六年 奥山 莉奈
熱意

▲一画一画を丁寧に書いています。
奥山 莉奈さん(6年)



猪名川小学校

▼図工展に向けてがんばっています。夢のいっぱいつまった恐竜の卵
4年生みんなの作品



六年 吉原 晶子
熱意

▲力強く、バランス良く書けています。
吉原 晶子さん(6年)